

緊 急 動 議

総会出席者交通費補助の件

(提 案 理 由) 往復距離は県庁所在地間の JR の駅距離間です。

最近では愛媛県(往復400km) 高知県(往復320km) 徳島県(往復150km) の長距離を総会のためだけで一人で車を運転しての出席が年齢的にもおっくうになってきたという意見が多い。更に JR で松山から宿泊出席すると約2万円程度の費用が掛かる(日帰り出席は懇親会が夜のため、当日中に帰宅できない)

総会開催時間の検討(当日帰宅できる計画)も含めて一人でも多くの出席をいただき懇親を深め元気を確認する総会にする事が急務だと考え提案します。

四国のように数県をまたぐ地理的不利な条件の他地区の例をご紹介します。

既に 総会のみ 出席率向上の策として様々な交通費補助制度を設けています。

その条件として洋友会四国発足以降 将来の為の積立金UPと受益者負担を基本に運営されてきた事を踏まえ 現状以上の積立金確保を条件に提案します。

(各地区の状況)

中国地区～総会のみ JR 広島駅～各県庁所在地間の高速バス往復代金全額補助

(鳥取⇄広島 高速バス代金 往復8,000円を上限とする)

九州地区～総会のみ 開催地までの高速代金の半額補助 都度補助額決定

中部地区～総会のみ 2年に1回 名古屋 各県廻り持ち 都度補助額決定

今年は名古屋開催 石川県金沢市から出席 4千円補助

洋友会四国の総会は会員の約50%が在住する香川開催で固定 秋の懇親会は残る3県の持ち回りとする。香川役員は洋友会四国の役員を兼務する。

総会開催地を固定することで 下記に出席者の交通補助を具体的に提案する。

総会交通費補助金

愛媛県 松山(以南含む) 4,000円 西条(新居浜含む) 2,500円

高知県(県全域) 3,500円 徳島県(県全域) 1,500円

(条件) 往復150km以上を田尾翔とする。(算定基準) 1km×10円

(実施) 平成26年度4月～